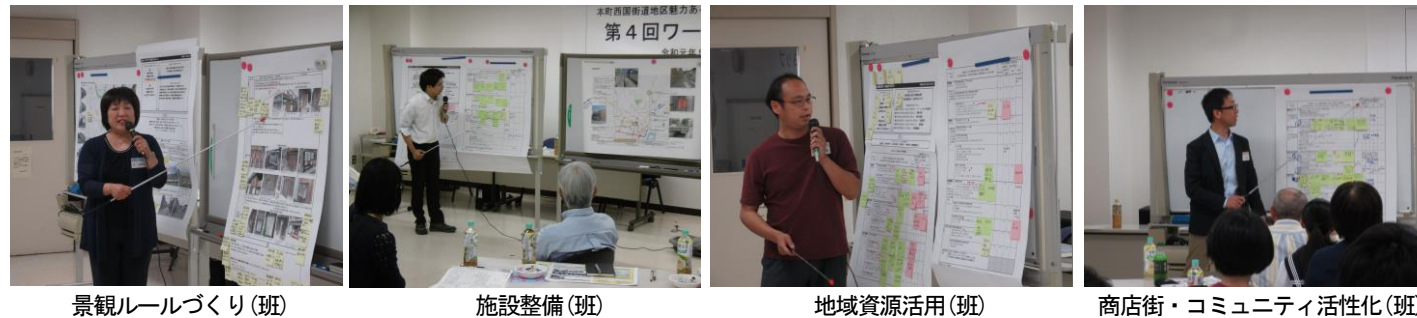


## 発表・コメント

4つの班（テーマ）、それぞれ参加者が、話し合いの成果について発表しました。



景観ルールづくり(班)

施設整備(班)

地域資源活用(班)

商店街・コミュニティ活性化(班)

### ＜アドバイザー・オブザーバー＞

#### はじめに：取組を考えるポイント

橋本 敬一 先生

- ・名古屋から来られた方の意見として、生活感のあるところとそうでないところがあるとのこと。
- ・その方を稲成さんまで案内すると、大変すばらしい、何故宣伝しないのかと言われました。そのときは、海や小島、それに四国も見えて感動したとのこと。
- ・私たちが見逃していることがあると痛感しました。この場で話し合っていければと思います。

滝口 隆久 氏

- ・これまでのワークショップで具体的な取組が見えてきています。それらの魅力や強みはさらに良くし、課題は解決していけるよう、また、自分たちが生きていく、誇れるまちになるよう、アイデアを出してください。
- ・リノベーションの講演（6/30）をお願いした方は、阿房坂で感激されました。リノベーションで店舗やコワーキングスペースにした実例もあるので実践講演会に参加してください（チラシ配布）。

#### 全体会でのコメント

橋本 敬一 先生

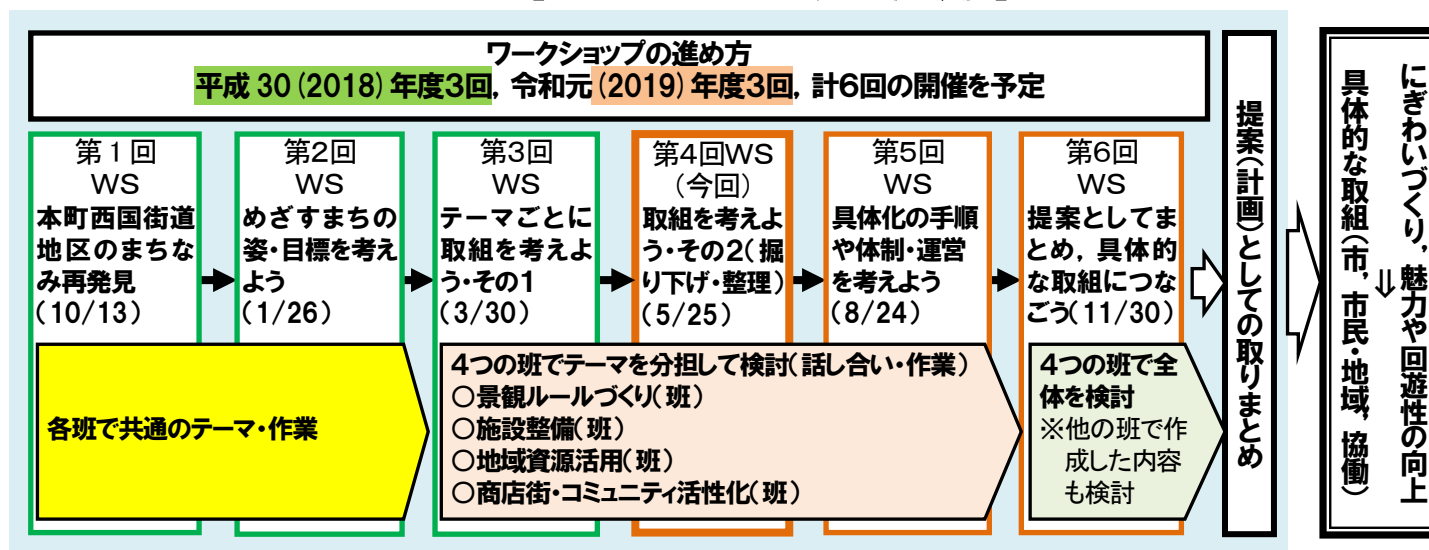
- ・段々と取組が煮詰まってきました。
- ・これを具体化させることが大切だと、ひしひしと感じています。
- ・これからも皆さんの意見を通じて、この取組が進んでいくことを期待しています。

滝口 隆久 氏

- ・変えたくないもの、変えるべきものが出されています。
- ・小路の魅力は、歴史や文化財を巡る財産となっています。生活面では、歩きやすく手すりがあったり、高齢の方のモビリティが通れたりするなど、不便が解消されると良いと思います。
- ・今ある魅力を活かして、魅力が更に増していくことを期待しています。



### 【ワークショップの予定とその展開】



### 問い合わせ・連絡先

〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号

三原市 都市部 都市開発課 担当：奥広、西村

電話：(0848) 67-6113 FAX：(0848) 64-6057

E-mail：toshikaihatsu@city.mihara.hiroshima.jp

～まちなみづくり（まちづくり）に関わるご意見なども、お寄せください～

# 本町西国街道地区 まちなみづくり通信 第4号

～『にぎわいのある街道の再生、地区の魅力や回遊性の向上』をめざして～  
令和元年(2019)6月 発行：三原市都市部都市開発課

本町西国街道地区において、にぎわいのある街道の再生、地区の魅力や回遊性の向上（地区の魅力づくりと活性化）をめざし、5月25日（土）に4回目のワークショップ（全体で6回を予定）を開催しました。

今回のワークショップでは、前回に引き続き4つの班でテーマ（景観ルールづくり、施設整備、地域資源活用、商店街・コミュニティ活性化）を分担して、具体的な取組などを掘り下げました。また、三原高校の先生と生徒の皆さんも見学に来られ、班に入っていました。

### 第4回ワークショップのプログラム等（要点）

日時：令和元年(2019)5月25日（土） 14:00～17:10 会場：サン・シープラザ 4階 第1研修室

参加者：住民・関係団体の皆さん20人、県立広島大学の学生2人、アドバイザー・オブザーバー2人、広島県1人、三原市10人、進行役4人、報道機関1人、見学者8人(うち三原高校の先生1人、生徒4人)

### はじめに

- 前回までの振り返りと成果
- 今日の進め方・内容
- 本町地区の魅力づくりや課題解決のヒント（アドバイザー、オブザーバー）

橋本 敬一 先生：三原市文化財協会 会長

滝口 隆久 氏：(株)まちづくり三原 統括マネージャー



### テーマごとに目標などを検討し、取組を掘り下げました

#### 景観ルールづくり(班)



#### 施設整備(班)



#### 地域資源活用(班)



#### 商店街・コミュニティ活性化(班)



### 全体会

- 班ごとの発表
- アドバイザー、オブザーバーのコメント ※4頁を参照
- 終わりのあいさつ ⇒終了





## 4つのテーマ(班)の掘り下げ

### 景観ルールづくり(班)

景観ルールについて、具体的に検討しました。

＜景観ルールの役割＞

- 修繕、増改築、建替え・新築等を行う場合に考慮するルール・方法
- 強制するものではなく、『ゆるやかなルール』として、景観づくりに活かしましょう

＜景観ルールと意見(追加等)・・・ルールは一部記載＞

建物の高さ

- ・主要な眺望点(妙正寺、大島神社、中央公園)から三原城跡(天主台跡と石垣)を眺望できるよう、建替え・新築においては留意しましょう
- ・中央公園付近の斜面の樹木の一部を、地権者の協力を得て伐採してほしい
- ・宗光寺や中央公園からは、筆影山などの眺望も維持しましょう

色

- ・無彩色または落ち着いた色彩を基調としましょう
- ・推奨する色の幾つかを例示したい。一方で、避けたい色も示したい

屋根

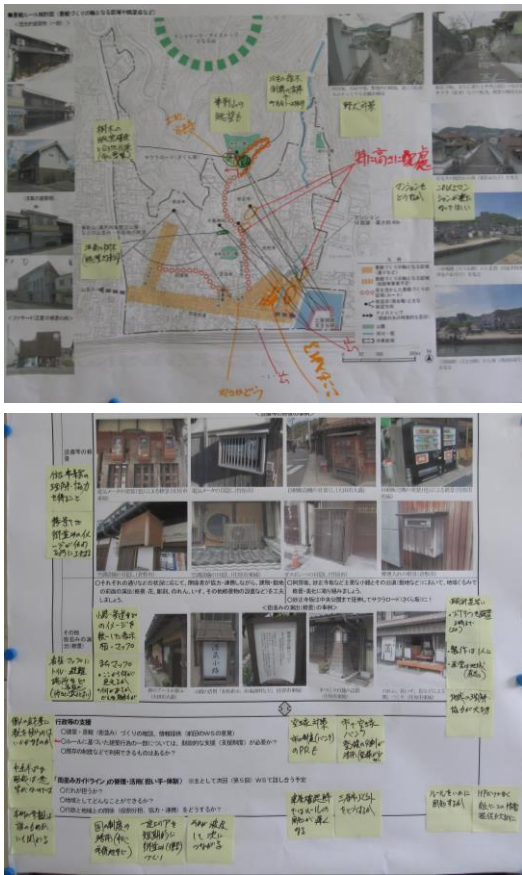
- ・新築・建替え等においては、原則、勾配屋根としましょう

屋外広告物

- ・サイン(看板など)の楽しいまち、工夫されたまちをめざしましょう
- ・だれでも分かるサイン(花、くつの店など)を工夫しましょう
- ・JR(車両)から見られることを意識したサインづくりを考えましょう

その他、街並みの演出(修景)

- ・まちマップ(トイレ、避難場所も)の複数設置
- ・地域の理解・協力を得ながら、修景物(灯籠など)を設置
- ・空き家対策と合わせた景観づくり、空き家バンクのPR
- ・ルールの周知が大切、ホームページだけでなく紙情報も大切 等々



### 施設整備(班)

前回までの意見などをもとに、本町通り(西国街道)再整備、小路・参道魅力づくり・ネットワーク、公園・広場魅力化、案内・交流・サイン整備の4つのプロジェクトを設定し、具体的に検討しました。

＜4つのプロジェクトと取組への意見(追加等)＞

本町通り(西国街道)再整備プロジェクト

- ・歩行者優先の整備や交通規制が大切

小路・参道魅力づくり・ネットワークプロジェクト

- ・西町の寺院とのつながりを確保し、香積寺小路もネットワーク化
- ・車の通る道と通らない道の性格分け 通学路の安全確保
- ・風情を感じる景観整備

- ・道と合わせた建物の外壁の修景、老朽空き家の撤去

公園・広場魅力化プロジェクト

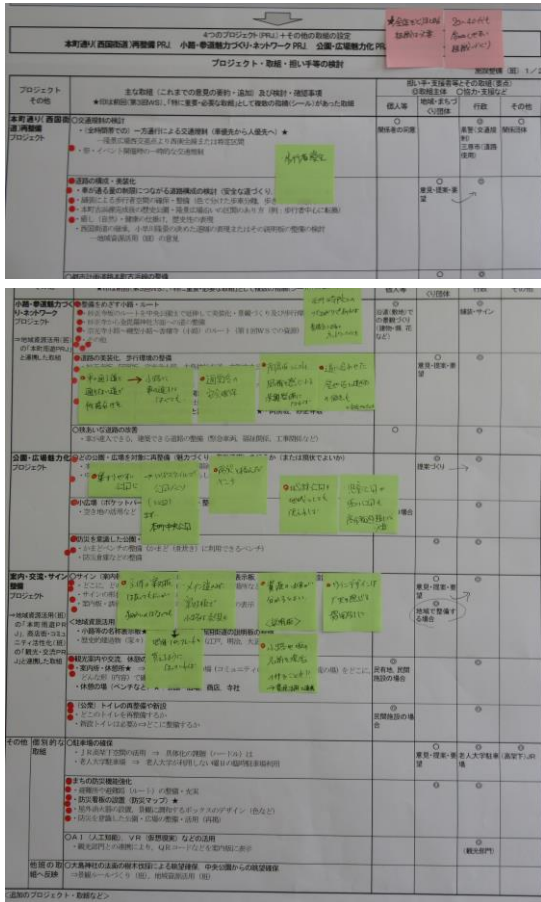
- ・ワークショップスタイルで公園の再整備⇒まず、本町中央公園
- ・防災機能の強化(高齢者等の避難への対応、防災ベンチの整備など)
- ・城跡公園の地域としての活用

案内・交流・サイン整備プロジェクト

- ・案内板はメインの通りのみで、小路は発見する楽しみ
- ・地図・パンフレットの円滑な入手
- ・歴史を感じるサインのデザイン 資源の由来が分かる説明板
- ・小路や坂の名称復活、名称の表示板の設置(地域資源活用との連携)

＜主な取組の優先度＞

- ・小路・参道の整備(美装化、歩行環境)が最も優先度の高い取組となり、2番目にまちの防災機能の強化があげられました。
- ・これらに次いで、本町通りの道路の構成の再検討(歩行者スペースの確保など)と美装化、サインの整備などが続きます。



### 地域資源活用(班)

前回までの意見などをもとに、寺社活用、四季の行事、生活文化発信、町家活用、本町周遊、本町情報発信の6つのプロジェクトを設定し、具体的に検討しました。

＜6つのプロジェクトと取組への意見(追加等)＞

寺社活用プロジェクト

- ・大島神社の鳥居の寄進を募り増設 宿坊体験、座禅・ヨガ
- ・関係団体(ミハラボ)の取組 等々

四季の行事プロジェクト

- ・浮城まつり、甲冑行列など 寺のイベントの広報
- ・NPOチャンクス、いろはの活動 等々

生活文化発信プロジェクト

- ・商店街の店の活用 地物を使った惣菜屋 「食」体験の古民家
- ・いろは、まちづくり会社、観光協会の連携 担い手の確保 等々

町家活用プロジェクト

- ・空き家への子育て世帯の入居促進 まちづくり会社の取組

本町周遊プロジェクト

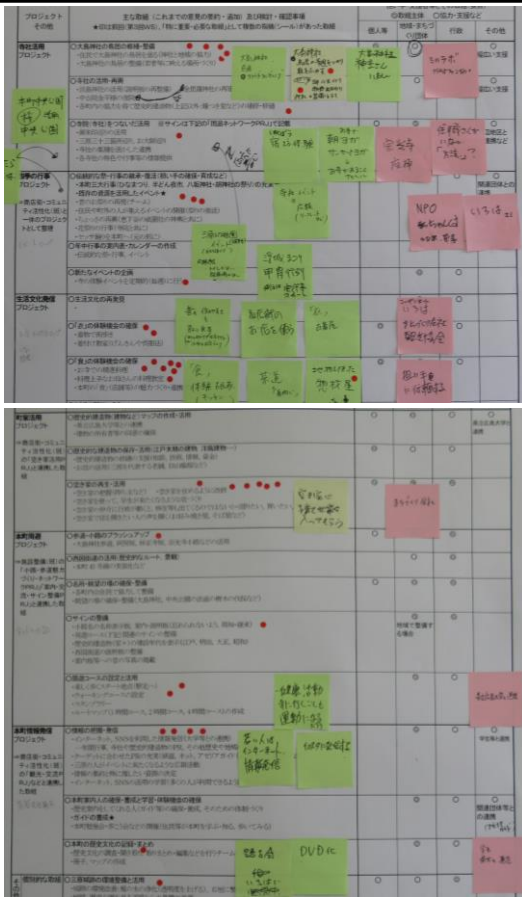
- ・健康活動(寺に行くことも運動) 県立広島大学との連携

本町情報発信プロジェクト

- ・若い人はインターネット、インスタに発信
- ・語る会を実施中(いろは)、DVD化 県立広島大学、学生との連携

＜主な取組の優先度＞

- ・「食」の体験機会の確保が最も優先度の高い取組となり、2番目に大島神社の鳥居の修繕・整備があげられました。
- ・これらに次いで、空き家の再生・活用、情報の把握・発信、伝統的な祭・行事の継承・復活などが続きます。



### 商店街・コミュニティ活性化(班)

前回までの意見などをもとに、交流・支え合いのまちと担い手づくり、四季の行事、健康のまちづくり、安全・安心のまちづくり、空き家・空き地活用、商店街活性化、観光・交流の7つのプロジェクトを設定し、具体的に検討しました。

＜7つのプロジェクトと取組への意見(追加等)＞

交流・支え合いのまちと担い手づくりプロジェクト

- ・本町まちづくり協議会(仮称)の提案(右写真)

四季の行事プロジェクト

- ・寺社を活用したeスポーツ 駅裏への誘導 各行寺の案内 等々

健康のまちづくりプロジェクト

- ・公園でのスポーツイベント まちを使った健康づくり 等々

安全・安心のまちづくりプロジェクト

- ・自主防災組織の強化 本町連合会による取組

空き家・空き地活用プロジェクト

- ・空き家調査と所有者相談 本町の空き家バンク 等々

商店街活性化プロジェクト

- ・のれんや旗など統一感のあるものの製作 空き家の活用(店)等々

観光・交流プロジェクト

- ・本町のキャラクターのサイン 店舗一軒一軒の観光案内所化
- ・観光協会、商工会議所、商栄会の取組

＜主な取組の優先度＞

- ・魅力ある店舗づくりが最も優先度の高い取組となり、2番目に大学と連携したイベントの充実と担い手の確保育成、参加・交流促進(案内・掲示板の設置)があげられました。
- ・これらに次いで、健康づくりイベント等の開催、交流拠点・案内所・休憩所の整備などが続きます。

